

課題番号	LZ007
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)
実施状況報告書(平成25年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	次世代を産み育てる新しい社会システムの構想:フランスと日本の社会セクター調査
研究機関・ 部局・職名	静岡大学・人文社会科学部・教授
氏名	船橋 恵子

1. 当該年度の研究目的

<p>(1) 平成25年3月に実施した日仏シンポジウムで浮かび上がった以下の諸点について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フランスを参考に、日本の男性の長時間労働を解消するための手がかりを求める。 ② フランスの「子ども契約」を参考に、上質な保育・教育システムを地域で作り上げる方法を検討する。 ③ フランスの家族給付の仕組みを参考に、日本の子育て世帯への支援の財源問題を考察する。 ④ 多様な家族を前提とした子ども本位の総合的次世代育成支援のあり方を考察する。 <p>(2) 以上の諸課題を推進する社会セクターの力を高める仕組みについて、さらに調査・分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「事業者」としての社会セクターという視点から、新しいサービスを先駆的に創出している団体について ② 「知恵袋」としての社会セクターという視点から、調査・分析・政策提言を行っている団体について ③ 「ネットワーク」としての社会セクターという視点から、政府・企業・市民団体の連携のあり方について

2. 研究の実施状況

<p>(1) 引き続き国内でのヒアリング調査を実施した。特に「子ども子育て会議」が、国レベルでも自治体レベルでも始まり、それをフォローする「につぼん子育て応援団」や内閣府の出している情報を収集した。</p> <p>(2) 平成25年9月に、5回目のフランス調査を実施した。</p> <p>(3) 多くの情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成25年5月に社会政策学会でセッションを組んで研究発表を行った。 ② 平成25年6月と8月に静岡大学の地域連携事業として講演を行った。 ③ 平成25年7月に日仏女性研究学会シンポジウムで発表した。 ④ ホームページでの発信を強化した。 ⑤ 平成26年2月にNEXTポスター展に参加した。 ⑥ 平成26年3月に報告書を編集・印刷して、調査関係者に配布した。 <p>(4) 研究成果のまとめについては、すでに部分的に論文を発表しているが、助成終了後に、①世界社会学会議での発表(平成26年7月17日、プロポーザル受理済)と、②専門書の刊行を予定している。</p>

様式19 別紙1

3. 研究発表等

雑誌論文 計 1 件	(掲載済み一査読有り) 計 1 件 船橋恵子「フランスにおける保育・教育システムのアクター」『女性空間 30 周年特別号』日仏女性研究学会 p.80-86, 平成 25 年 6 月 (掲載済み一査読無し) 計 0 件 (未掲載) 計 0 件
会議発表 計 5 件	専門家向け 計 2 件 1) 船橋恵子「女性の自立を支えるフランスの家族政策」平成 25 年 5 月 26 日 第 126 回社会政策学会大会テーマセッション「グローバル化のもとで家族政策はどこへ行くのか: 大陸ヨーロッパ三カ国の検討」(青山学院大学) 2) 船橋恵子「子育て支援」平成 25 年 7 月 21 日 日仏女性研究学会 30 周年記念シンポジウム「ジェンダー平等へ向けて: 日仏比較の方法と政策研究」(日仏会館) 一般向け 計 3 件 1) 船橋恵子「新しい子育てシステムをどう作る? OECD 教育委員会『人生の始まりこそ力強く I・II・III』の示す方向」平成 25 年 6 月 20 日 静岡大学公開講座「次世代をめぐるケアを考える～育児・教育・医療～」第 5 回 (アイセル 21) 2) 船橋恵子「フランスの子育て事情」平成 25 年 7 月 1 日 静岡市国際交流協会「フランス文化サロン」第 5 回(静岡市国際交流協会) 3) 船橋恵子「次世代を産み育てる新しい社会に向かって～フランスとの比較～」平成 25 年 8 月 31 日 静岡大学・読売新聞連続市民講座 2013『グローバル化時代を生きる』第 2 回 (あざれあホール)
図書 計 1 件	1) 船橋恵子「保育制度～社会全体で子どもを育てる多様なしくみ～」(p.32-39)および「家族政策に市民の意見を提出～家族協会連合～」(p.228-234)、石田・井上・神尾・中嶋編著『フランスのワーク・ライフ・バランス』平成 25 年 12 月刊, パド・ウィメンズ・オフィス ISBN:978-4-86462-061-1
産業財産権 出願・取得状況 計 0 件	
Webページ (URL)	https://sites.google.com/site/ressfj/
国民との科学・技術対話 の実施状況	
新聞・一般雑誌等掲載 計 0 件	
その他	1) NEXT ポスター発表, 平成 26 年 2 月 28 日(ベルサール新宿グランド) 2) 報告書『次世代を産み育てる新しい社会システムの構想: フランスと日本の社会セクター調査』平成 26 年 3 月 13 日, 静岡大学・船橋恵子研究室

4. その他特記事項

なし

実施状況報告書(平成25年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されません

1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額	既返還額(前 年度迄の累 計)
直接経費	15,000,000	12,212,000	2,788,000	0	
間接経費	4,500,000	3,663,600	836,400	0	
合計	19,500,000	15,875,600	3,624,400	0	0

2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を除 く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度執 行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額	当該年度返還 額
直接経費	0	2,788,000	0	2,788,000	2,788,000	0	0
間接経費	0	836,400	0	836,400	836,400	0	0
合計	0	3,624,400	0	3,624,400	3,624,400	0	0

3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	903,386	シンポジウム要旨集、書籍等
旅費	751,514	シンポジウム出席旅費、事前打合せ等
謝金・人件費等	41,000	会議出席、謝礼等
その他	1,092,100	シンポジウムHP作成、当日運営補助、通訳等
直接経費計	2,788,000	
間接経費計	836,400	
合計	3,624,400	

4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
シンポジウム要旨 集	みどり美術印刷 (株)	100	6,920	692,000	2014/3/20	静岡大学
				0		
				0		